

1992年4月15日(水)

15日(水曜日) 言葉 楽斤 尾形

広島讀賣 広域

現代女子学生

47本のテープと 10枚のCD持つ

神原・広島文教女子大助教授が調査



「音楽教育を見直す参考に」と話す神原助教授

「女子学生は音楽が生活の中で重要な要素を占め、好きなジャンルは「ニューミュージック」」。広島文教女子大学の神原雅之助教授が同大幼児教育学科の一年生百七十三人を対象に行ったアンケートで、学生は一人平均四十七本のカセットテープ、十枚のCDを持つなど、音楽に大きな興味を示していることが分かった。

優れた音楽教員を養成する教育方法を見つげるためには、学生の音楽の好みを知ることが重要だ。

ニューミュージックが35%

姿消したフォーク

知るところから、と考え、昨年六月から七月にかけて好きなジャンル、楽器、音楽設備の所有状況、日常的な

音楽行動のタイプなど、五項目についてアンケートをした。

最も長く聴く音楽はニューミュージックが三五％とトップ。これに歌謡曲(二二％)、ポップス(二二％)と続き、十年前の調査で一位だったフォークはほとんどなく、時代の変化をうかがわせる。また、ラジオやステレオデッキなど音楽設備を持つ学生は七割以上を占め、自分の好みにあった音楽を積極的に取り入れようとしている学生が多かった。

た。

日常の音楽行動に関する質問では、TV視聴、CD鑑賞、楽器演奏、カラオケなどがともに約三〇％で並び、楽しみ方が多様化している傾向が見られた。

神原助教授は「教員になる人のための音楽教育には、それまでになどなかった音楽的成長の過程を知り、それをベースに現在の生活を見直し、音楽環境を再構成していくような能動的な態度が望まれる。今回得たデータを、ピアノ学習法や教材研究のあり方を考え直す参考にしたい」と話している。